

式辞

世界中に感染が拡大した新型コロナウイルスのため、初夏を迎えようとするこの時期まで、新入生361名の皆さんの入学をお祝いできなかつたことをお詫びしたいと思います。また、保護者の皆様には、大切なお子様の入学式に御臨席いただけないことを大変申し訳なく思っています。ただし、実施の時期や形態は違っても、本日、ここに埼玉県立所沢高等学校第75回入学式を挙げていくことは、新入生の皆さんはもとより、本校職員や在校生にとりましても、大きな喜びでございます。おそらく、この入学式は、新入生の皆さんの心に深く刻み込まれ、生涯忘れることができない思い出深いものとなることでしょう。また、新型コロナウイルス感染症という恐ろしい病気が拡大する困難な中、保護者の皆様をはじめ、残念ながら予定の通り実施はできませんが「入学を祝う会」を準備していただいた2・3年生の皆さんも含め、新入生のために御対応・御準備いただいた全ての皆様に、校長として感謝申し上げます。

さて、新入生の皆さん。御入学、誠におめでとうございます。所高生となられた皆さんに、校長として一言述べさせていただきます。

皆さんも既に御存知のこととは思いますが、本校は、明治31（1898）年に設立された「共立英和學舎」に始まる創立122年目の伝統校です。埼玉県内では4番目、西部地区では最も古い歴史を誇ります。創立の翌年に制定された「入学者心得書」の第3条には、「本學舎ハ勉メテ自動的ノ方針ヲ取り相互ニ學術智識ノ交換ヲ爲シ共ニ研礪セシムルヲ以テ旨トス」とあります。生徒の自主的な活動を重視し、生徒同士が互いに教え合う「協調学習（アクティブラーニング）」を先取りしたような大変先進的且つ画期的な学校であったことが窺えます。

「十人十色ー生徒の数だけ色がある」。これは、創立120周年目に、当時在籍していた皆さんの先輩が考えた本校のキャッチコピーです。皆さんには、各々の「色」即ち特徴や個性があります。皆さんは、本校で、自分自身の「色」をさらに濃く、伸ばすよう努めるとともに、他の「色」を持った他の生徒達と積極的に交わり「相互に學術・知識を交換し」、切磋琢磨して、自身の成長に繋げていただきたいと思います。

「明治」・「大正」・「昭和」・「平成」と、我が国にとって激動の時代であった近現代を通じ、普遍的に受け継がれてきた本校の輝かしい伝統や校風を継承しつつ、「令和」の所沢高校の新しい礎を創るのは、「令和」となって最初に本校に入学されたまさに皆さん一人一人です。

結びとなりますが、皆さんが、本校でめざましい成果をあげられるとともに、充実した高校生活を送られることを祈念して、式辞とさせていただきます。

令和2年6月5日

埼玉県立所沢高等学校長
佐久間博正